



当宮ホームページ開設二十周年

今月十四日で、当宮のホームページ(以下サイト)は開設からちょうど二十年となります。

開設した平成十年(一九九八)の頃はまだ世界全体でもサイトの数そのものが少なく、今では検索サイトとして世界的に有名な「グーグル社」も当宮サイトと同じ年の創業でした。

当時の神社サイトは当宮を含めてまだ全国に五つぐらいしかなく、さらに二十年が経過して、その当時から残っているサイトは三つほどになっており、神社のサイトというくくりでは当宮も古い部類といえそうです。

前回の節目であった五年前から比べると、今はスマートフォン の普及で、SNS全盛期となり、更新に手間がかかるホームページは業務案内などのご案内が中心となってきており、**敏活な情報交換はSNSへと移行**していきません。たった五年で大変な変化です。

当宮でも、現在はツイッター、フェイスブックなどを活用しており、また今月からは訪日外国人向けにインスタグラムなどにも取り組み、出来るだけこまめな情報発信を心がけてはおりますが、何分にも対応する人間は一人です。至らぬ点は多くあるかと思いますが何卒ご容赦下さいませ。

また、今春、容量の都合で**当宮サイトを新しいサーバーへ移行**しましたが、操作に不慣れな事もあって、更新出来ない状況が増えております。対応に努力しておりますが、まだ慣れるまでは少々お時間を頂戴したいところですので、最新情報につきましてはツイッターなどでご確認下さいませ。

今後とも当宮サイトをどうぞ宜しくお願いいたします。(社報はサイトでも公開しております)

台湾テレビ来訪

先月二十六日、台湾電視公司という台湾で最も歴史ある放送局の取材が当宮の**歯神社**、**御旅社**に入りました。訪日台湾人向けの旅行案内番組で、台湾でも**歯の神さま**というのがやはり**相当に珍しい**ようで、**歯神社**中心の取材でした。今月下旬から来月初旬頃の放映になるそうです。

御即位のはなし 天皇の装束

平成の御代から新しき御代への御代替わりを控え、四月まで、御即位に関するお話を掲載してまいります。御即位装束調進 (黄櫨染御袍)

斎田での新穀の収穫が終わると、いよいよ内々に即位を宣明する「即位礼正殿の儀」が近づいて参ります。その即位礼にあたって天皇陛下はじめ皇族方の皆様は、お難様のような**束帯**、**十二単**姿とされます。

江戸時代までの即位礼は、皇室や公卿のうちで執り行われ、一般の人が目にする事はほぼ無く、その装束も**中国の皇帝風**のものが飛鳥時代(一説には古墳時代)から江戸時代まで用いられてきましたが、

維新後、中国風ではなく、**日本独自の姿を内外に示すべき**という岩倉具視の発案で、神祇官副知事の亀井茲監、神祇官判事の福羽美静らの調査研究の結果を受けて、**①唐風儀礼の中止**、**②日本独自の装束を用いる**。などが決められました。

その日本独自の装束という事で、**当宮の御祭神**でもあられます、**嵯峨天皇さま**が、**天皇のみ**の**禁色**として、弘仁十一年(八二〇)に御定めになりました「**黄櫨染(こうろせん)**」という色で染め上げられた束帯を用いる事になりました。この**黄櫨染**は**黄色**ですが、織り方や糸の工夫で、**光**が当たると**金色**にも見える**事**から、**真昼の太陽の色**とされます。その他、皇族方の装束の調進も整えば、いよいよ即位礼の当日を迎えます。

今月の暦

【祭礼】 嵯峨天皇御降誕祭(七日)：嵯峨天皇さまの誕生当日

【節句】 重陽の節句(九日)：五節句の一つ。長寿祈念。

【節気】 白露(八日)：大気が冷え始め、降りた露が白く光る頃。秋分(廿三日)：昼夜等分の候。秋風が訪れる頃。

【雑節】 二百十日(一日)：立春から二百十日。台風特異日。秋の彼岸(九月二十日)九月二十五日) お墓参り 秋の社日(二十三日)：産土神を詣でる。ポケ封じ 中秋の名月(二十四日)：秋のお月見

【大安】 九月二日、八日、十三日、十九日、二十五日
【祝日】 敬老の日(十七日)、秋分の日(二十三日)

網敷天神社SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 白江 秀知
編集 網敷天神社 禰宜(御旅社) 神主

禰宜(御旅社) 神主

